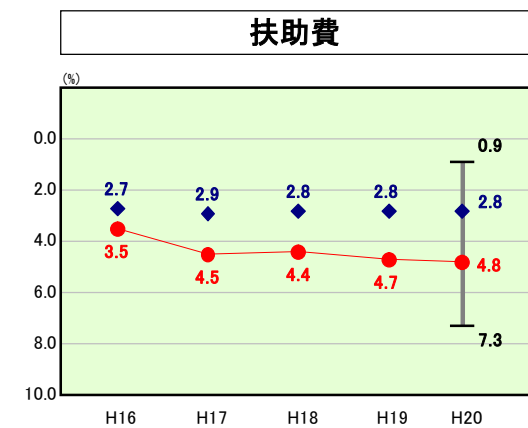
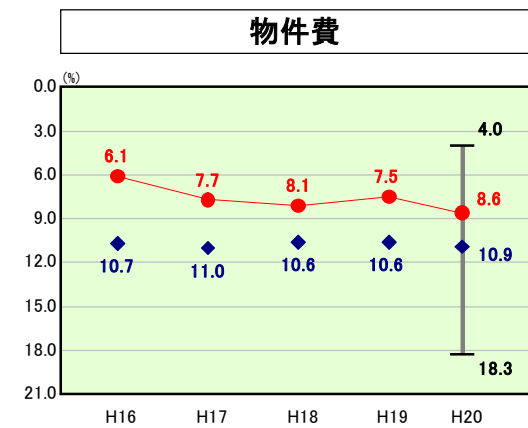
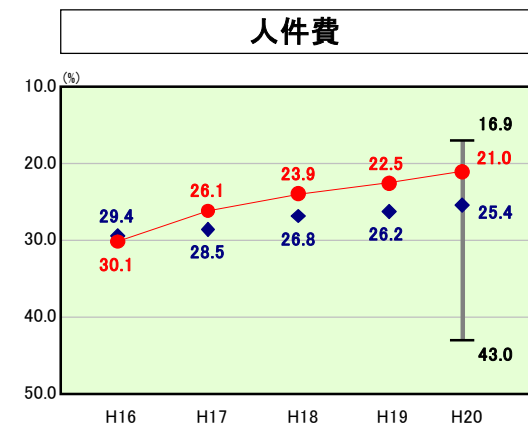
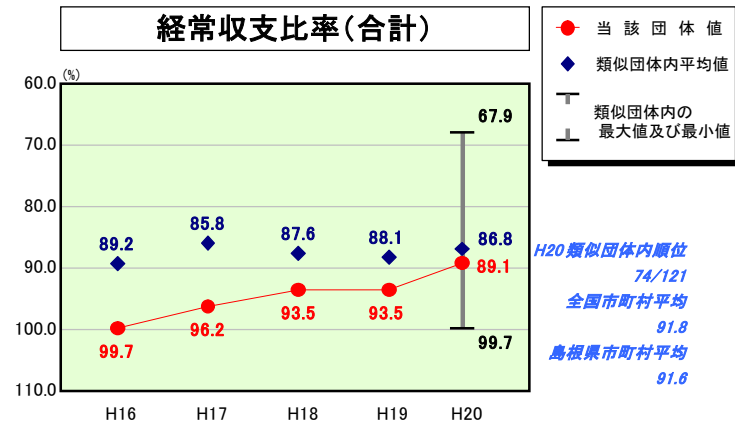
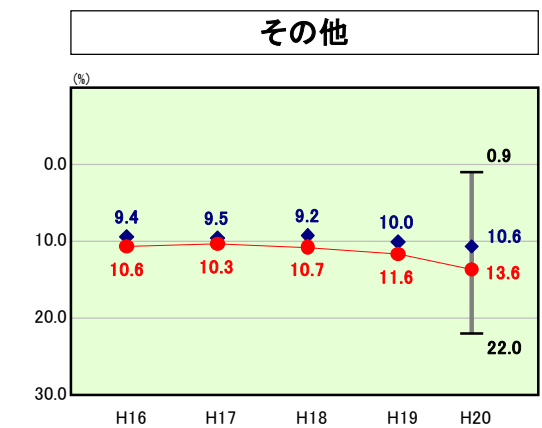
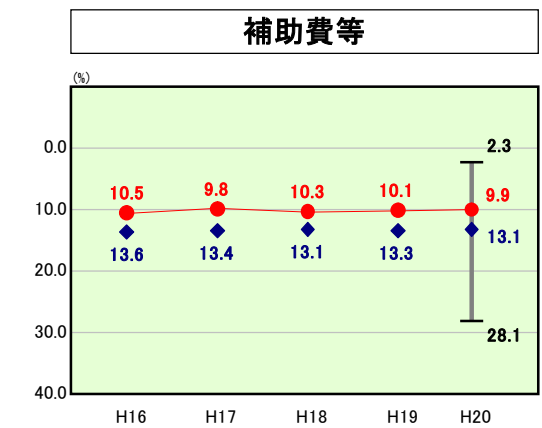
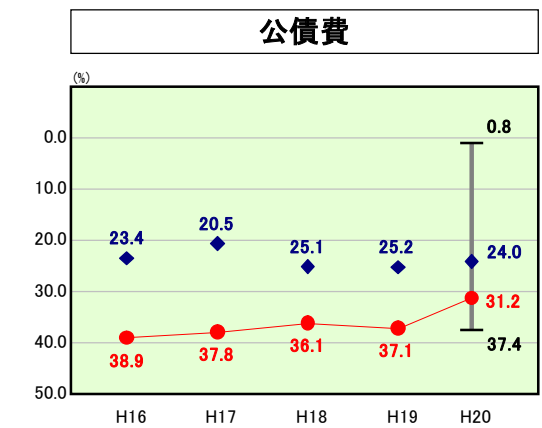
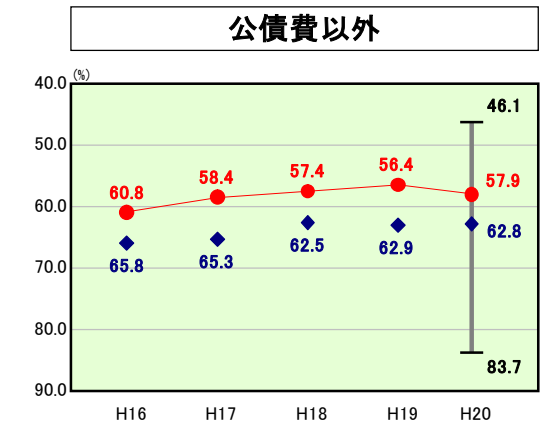
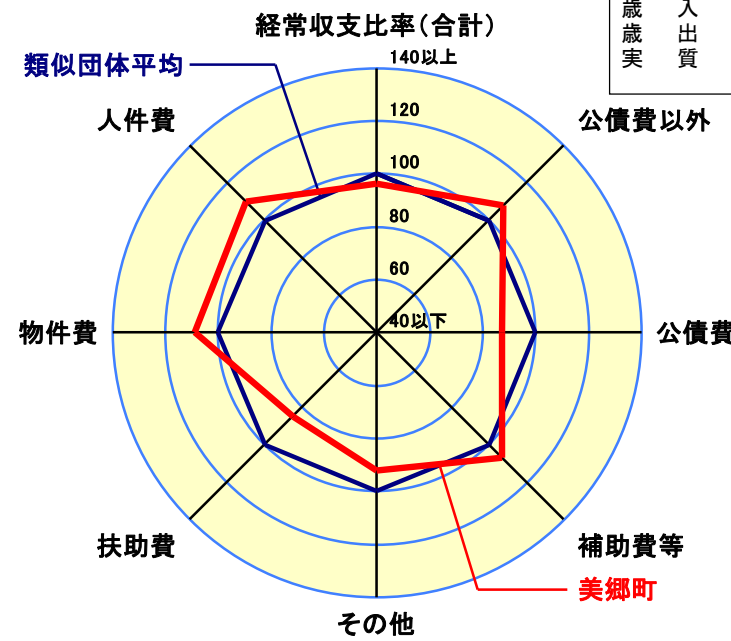


# 歳出比較分析表(平成20年度普通会計決算)

## 経常収支比率の分析



人口	5,725人(H21.3.31現在)
面積	282.92 km <sup>2</sup>
標準財政規模	3,917,540千円
歳入総額	6,187,464千円
歳出総額	6,089,600千円
実質収支	63,812千円



- ※1 本レーダーチャートは、当該団体と類似団体平均値より算出した偏差値をもとにチャート化したものである。(偏差値は平均を100としている。)
- ※2 当該団体の八角形が平均値の八角形より外側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示している。
- ※3 類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

### 分析欄

経常収支比率は平成16年度の合併時において、地方交付税の大幅な削減が行われたことに合わせ、これまでに行った社会資本整備のために発行してきた公債費の償還がピークにあったことから99.7%と極めて高い状況にあった。このような状況を踏まえ、公債費負担適正化計画、行財政改革大綱を基に、大幅な職員数の削減や給与カット、普通建設事業に伴う新たな地方債の発行の抑制を行ってきた。また、予算編成においては一般財源総枠配分方式を導入し、歳入不足を基金で補う悪循環からの脱却に向けた取り組みを行ってきた。その結果、経常収支比率は平成20年度決算においては89.1%となり、平成16年度からの4年間で10.6%減少した。その最も大きな要因は人件費の削減によるものである。

職員数の推移(全会計) Hn年度(職員数:退職者:採用)  
 H16(143人:9人:2人)→H17(134人:15人:2人)→H18(121人:9人:2人)→H19(114人:4人:1人)→H20(112人:6人:4人)

人件費◆前段で記載した内容により、類団平均を下回った。

物件費◆経常物件費の決算額はH19決算対比で3百万円増、経常一般財源が54百万円増加したことにより1.1%増加となった。しかし類団平均は依然として下回っており、主な要因は賃金。

扶助費◆経常扶助費の決算額はH19決算対比で46百万円増となっている。類団平均を上回っている要因は高齢化比率が高いことと、保育料の軽減措置等によるものである。

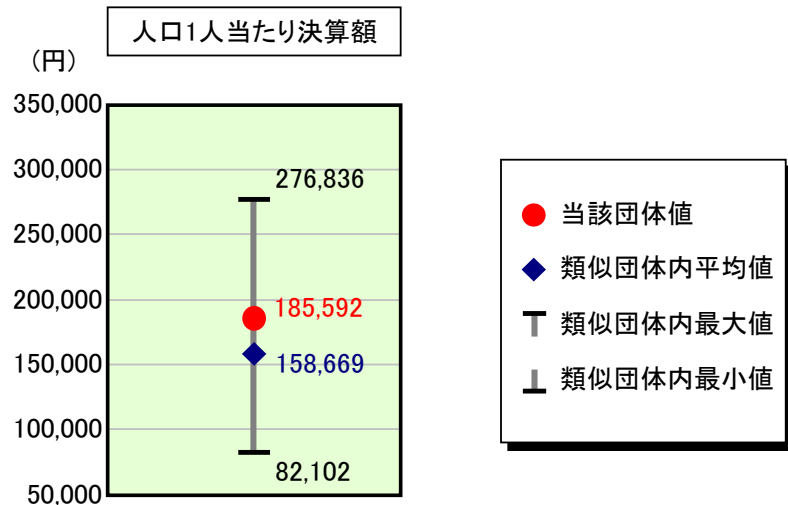
公債費◆これまでに行った社会資本整備のための償還費がピークにあることと、下水道事業の償還がピークを迎えるため類団と比較して高い状況にある。しかし、平成19~21年度に政府資金繰上償還を行ったため今後は数値が下がる見込みである。

補助費等◆平成20年度は平成19年度決算比で0.2%減少した。類団対比では一部事務組合に対するものの割合が高い。

その他◆経常繰出金の一般財源はH19対比で73万円増加となった。資本費平準化債を借入しないことによる下水道会計への繰出金の増加が主な要因となっている。

# 歳出比較分析表(平成20年度普通会計決算)

## 人件費及び人件費に準ずる費用の分析



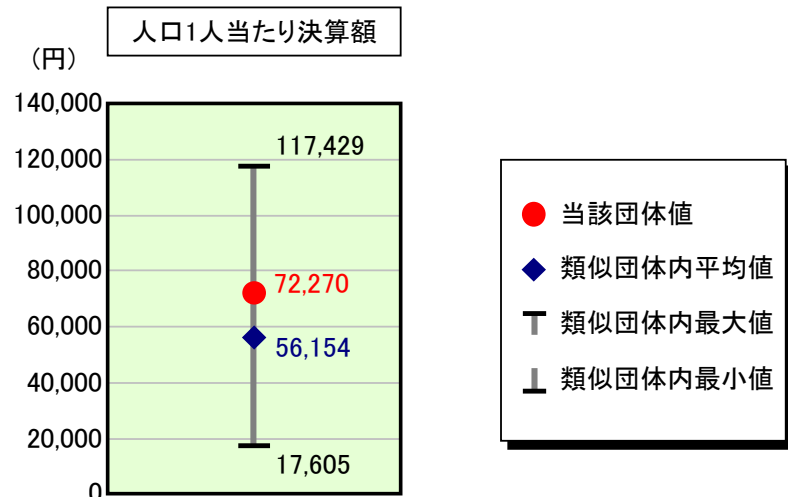
### 人件費及び人件費に準ずる費用

項目	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
人件費	905,432	158,154	129,552	22.1
賃金(物件費)	41,211	7,198	10,429	▲ 31.0
一部事務組合負担金(補助費等)	174,508	30,482	20,026	52.2
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	3,705	647	2,946	▲ 78.0
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	-	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	30,893	5,396	6,123	▲ 11.9
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	30,031	5,246	3,305	58.7
▲退職金	▲ 123,268	▲ 21,532	▲ 13,712	57.0
合計	1,062,512	185,592	158,669	17.0

### 参考

項目	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	17.29	14.36	2.93
ラスパイレス指数	92.4	94.1	▲ 1.7

## 公債費及び公債費に準ずる費用の分析

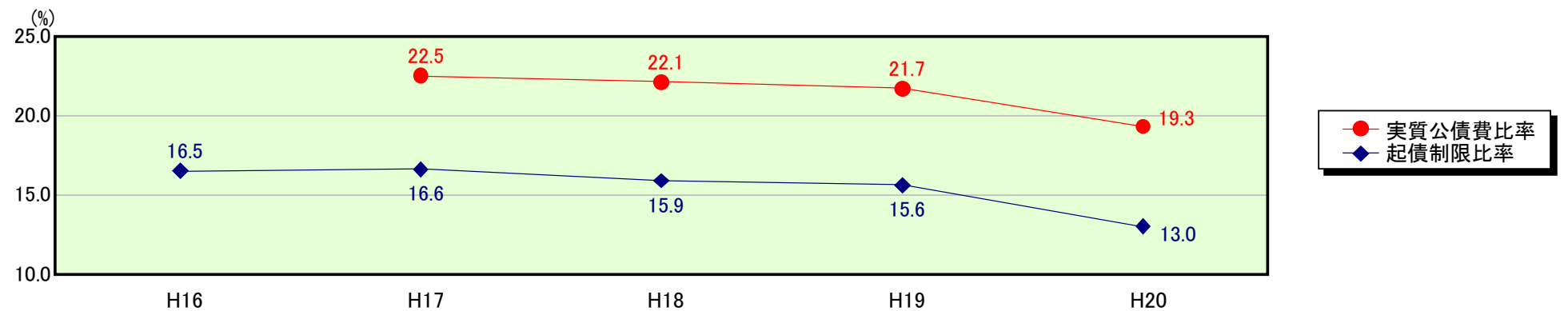


### 公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

項目	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
公債費充当一般財源等額 (繰上償還額及び満期一括償還地方債の元金に係る分を除く。)	1,240,449	216,672	111,710	94.0
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)等	-	-	582	-
公営企業債の償還の財源に充てたと認められる繰入金	230,550	40,271	21,716	85.4
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる補助金又は負担金に充当する一般財源等額	62,775	10,965	7,406	48.1
債務負担行為に基づく支出のうち公債費に準ずるものに充当する一般財源等額	20,721	3,619	4,282	▲ 15.5
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	45	-
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 1,140,748	▲ 199,257	▲ 89,587	122.4
合計	413,747	72,270	56,154	28.7

平成21年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体については、「-」としている(以下の項目について同じ。)

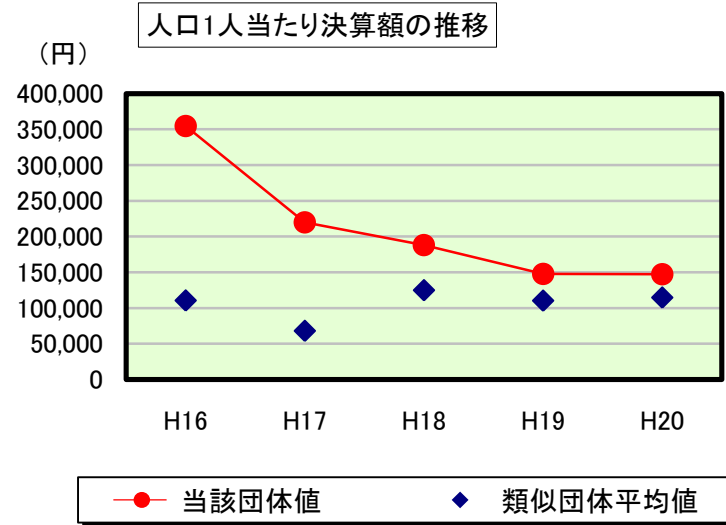
### ※参考 実質公債費比率及び起債制限比率の推移



# 歳出比較分析表(平成20年度普通会計決算)

島根県 美郷町

## 普通建設事業費の分析



## 普通建設事業費

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)
H16	2,205,462	354,405	-	110,575	-	-
うち単独分	1,284,646	206,435	-	68,815	-	-
H17	1,345,976	219,751	▲ 38.0	68,130	▲ 38.4	0.4
うち単独分	600,424	98,028	▲ 52.5	43,462	▲ 36.8	▲ 15.7
H18	1,124,872	188,232	▲ 14.3	124,895	83.3	▲ 97.6
うち単独分	412,713	69,062	▲ 29.5	61,345	41.1	▲ 70.6
H19	868,312	147,672	▲ 21.5	110,324	▲ 11.7	▲ 9.8
うち単独分	434,550	73,903	7.0	55,684	▲ 9.2	16.2
H20	842,250	147,118	▲ 0.4	114,677	3.9	▲ 4.3
うち単独分	353,800	61,799	▲ 16.4	55,912	0.4	▲ 16.8
過去5年間平均	1,277,374	211,436	▲ 14.8	105,720	7.4	▲ 22.2
うち単独分	617,227	101,845	▲ 18.3	57,044	▲ 0.9	▲ 17.4